



令和4年11月号 Vol.59  
情報メディア教育センター

### イグノーベル賞

今年もイグノーベル賞が発表されました。ノーベル賞のパロディで「人を笑わせ、考えさせられた研究に与えられる」という賞。日本人も16年連続受賞されているそうですね。

授賞式は、“明らかに価値のある出費”として旅費や滞在費は自己負担・オープニングは観衆全員が紙飛行機を作り舞台に立った人にめがけて投げる・受賞者のスピーチは60秒で鉄則は笑いを取る・賞金は10兆ジンバブエドル。など愉快的決まりがズラリ。

この賞を紹介した書籍が、図書館にもあります。 → 『笑う化学 イグノーベル賞』『ヘンな科学』



## 読書の秋に本を読む

読書の秋です。本はどのように選んでいますか？ 今話題・本屋で並んでいる・ドラマや映画化・ジャケ・好みの作家やジャンル・趣味や勉強が必要な場合など色々あると思います。昨今は、インスタやYoutubeでも紹介されてるページがありますよね。

今月は読書週間でもあるので、本なんて読まないぜ～な人も、本の選び方なんて余裕の方々にも、EMCの新刊紹介もしているブックログ(<https://booklog.jp/>)というサイトを紹介します。

こちらには“新刊”や“ランキング情報”はもちろん、様々な方の“感想やレビュー”、ユーザーがテーマごとに厳選した“ブックリスト”↑などもあり参考になるかと思います。ブックリストには、「2022年上半期私のベスト本」や、「やっぱり怖い本」「意外な結末の本」「一気読みしたい作品」などなど様々なリストがあります。

よく本を読む人にとって便利なのは、読書管理。このページ(<https://booklog.jp/signup>)で登録すると↓使用できます。下記のように本棚のページができて、本棚や読書記録を残すことができます。EMCで質問してくれる中で意外と多いのが、“自分が前に借りた本”についてです。オンライン上で残せることができれば、タイトルだけでもすぐに見れて便利です。



### ブックリスト一覧





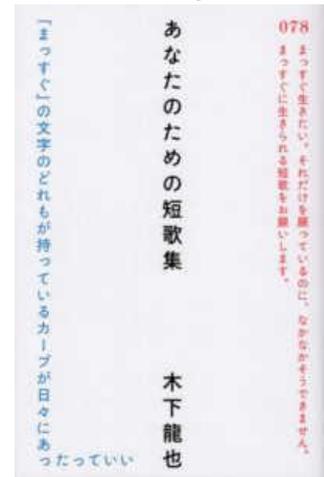
# 新着図書ピックアップ



## 『あなたのための短歌集』

木下 龍也【著】

五・七・五・七・七の世界、短歌です。歌集としては異例の売り上げを更新しているという本書。依頼主からお題をもらって作られた短歌 700 集のうち 100 集が収録されています。中にはお題が単語一つだったり、食べ物だったり、個性あふれるお題があり、著者が体験していないことを書くというのは難しいと思いますが、引き込まれ楽しんで読めました。言葉は、時には優しく温かく、歌詞のようであったり、想いが感じられたり、なるほど〜と思ったり。様々な世界を想像でき良い読書時間となりました。(大原)



## 『変な絵』

雨穴【著】



30万部の大ヒットになったという『変な家』(EMCにもあるよ)の著者で、ホラー作家兼 YouTuber である雨穴氏による、自身初となる 11 万字書き下ろし「長編小説」という話題性に惹かれて発売日に買って読んでみた!

これまでの小説であれば、そのどこが変なのか言葉の描写によってあらわすところを、いとも簡単に文中に絵や図を多用するあたり斬新。独立した短編のように見える4つの章はきちんとつながっているし、冒頭で示した1枚の絵に関する伏線も最後にきちんと回収されてスッキリ。でも、うーん。簡潔に言うと好みではありません。ばらばらのパーツをなんとかつなぎ合わせて形にしたレポートのようで、ぐいぐい文章に引き込まれるような面白さを感じませんでした。悪口になってすみません。読んだ人、感想聞かせてね。(津田)

## 『にゃんこ四字熟語辞典』

西川 清史【著】

「四字熟語」って…国語の試験に出る、漢字や意味をおぼえたりする、大変なあれかと思った人、ちょっとこの本読んでみて!全部で99の四字熟語をその意味や状況にピッタリの猫フォトと組み合わせて紹介しているかわいい辞典。猫たちに諭されたり、癒されたりしながらまずは四字熟語を心底楽しんでみよう。「自由奔放」で「変幻自在」な表情やしぐさに「吃驚仰天」、「破顔一笑」。言葉はしゃべらないけれど彼らの「喜怒哀楽」がジーンと伝わってくるから不思議ですよ。これで知らないうちに国語のお勉強もできたら「一挙両得」。暗記も「余裕綽綽」かな。犬派の人も是非どうぞ。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これは、ぜひ読んで!」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

## 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.54

『世界から猫が消えたなら』 川村元気【著】

余命宣告を受けた主人公のもとに、自分と全く同じ姿をした悪魔が現れ、「この世界からひとつ何かを消す。その代わりにあなたは1日だけ命を得ることができる。」という奇妙な取引を持ち掛けられます。

(みなさんなら、この取引に応じますか?)

この世界からひとつ何かを消すモノについて提案はできるものの、決定権は悪魔にあるわけです。

(私だったら何を消す? ゴキブリをこの世から消すと生態系に影響が出るのか? とスマートフォンで検索する私。気分はまさに主人公です。でも、1日1つ消していくの意外と大変だな…ただ、悪魔に決定権があるのは厄介だな…( °Д°)とか想像を膨らましながら読み進められる新感覚の展開♪)

そんなこんなで自分の命を延命する代わりに、世の中のあらゆる「モノ」を消していく主人公。

ただ、消していくモノは悪魔に最終的な決定権があるため主人公の身近なモノが優先して消されていきます。時計(実家は時計店)、映画(親友や恋人の仕事)などが消える代わりに自分の命が延命されていきます。

『世界から猫が消えたなら』

(えっ( °Д°)! まさか…やめてえええええええ(ノД` )°。。愛猫家の私にとって、この世から猫がいらないなんて考えられない。正直、生きていけません orz) 母を亡くし、疎遠の父、そのため、猫との2人? 暮らしの主人公。母親との思い出がたくさんあった愛猫。

猫の命を取るのか。はたまた自分の命を取るのか。主人公の選択はいついっ…。

(人は失ってからその「モノ」の大切さに気付く愚かな生き物です。自分の周りのモノや人の思いについて、改めて考えさせてくれる1冊です。)

世界から僕が消えたなら。想像してみる。それがどれほど不幸なことなのだろうか。人である以上、誰もがやがては死ぬ。致死率は100%だ。そう考えると死がイコール不幸だとは言えない。その死が幸せか不幸せかということは、どう生きたかということと関連するのだ。

(あたかも私が言い放ったような言葉にみえますが、作中でビビッときたフレーズです。個人的にすごい好きです。)

『100万回生きたねこ』にストーリーは似ているように感じましたが、最後は涙腺崩壊間違いなしの感動の名作です。さあ、読書の秋に読んでみませんか?

『世界から猫が消えたなら』 川村元気 著



## 11月の開館予定

11月		
1	火	8:10-17:50
2	水	8:10-17:50
3	木	休館
4	金	8:10-17:50
5	土	休館
6	日	休館
7	月	8:10-17:50
8	火	8:10-17:50
9	水	8:10-17:50
10	木	8:10-17:50
11	金	8:10-17:50
12	土	休館
13	日	休館
14	月	8:10-17:50
15	火	8:10-17:50
16	水	8:10-17:50
17	木	8:10-17:50
18	金	8:10-17:50
19	土	休館
20	日	休館
21	月	8:10-17:50
22	火	8:10-17:50
23	水	休館
24	木	休館/館内整理
25	金	8:10-18:50
26	土	休館
27	日	休館
28	月	8:10-18:50
29	火	8:10-18:50
30	水	8:10-18:50



## 第51回 位田 地哉先生おすすめ

『漫画で読破 神曲』

ダンテ【著】

この作品名をきいて、「授業や問題でみたことあるけど、単語だけ知っている。」っていう人が殆どだと思います。何故取り上げられるのか不思議だと思いませんか? 活字だと時間や労力もかかるので、漫画版を読んでみてください。

内容は今アニメ界隈で主流の転生ものみたいになっており、現在でも楽しく鑑賞できる場面が沢山あります。このように批評しながら読んでいくと作品の面白さに気づけるかもしれません。

漫画版を読んでみて興味が湧いたら、原作も是非。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな?

# MOVIE × BOOK

今年、濱口竜介監督の「ドライブマイカー」がアカデミー賞の国際長編映画賞を受賞しました。原作は村上春樹の短編小説（「女のいない男たち」所収。EMCにもあるよ！）。この作品に限らず、本が映画化される、または映画のノベライズ化はこれまでもたくさんありました。EMCでもこつこつ集めているテーマです。今回はそんなDVD×本を厳選して紹介します。知っている作品はいくつありますか？

『余命10年』



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』



行間から想像するか？  
美しい映像に見とれるか？

『ハニーレモンソーダ』



『屍人荘の殺人』



『青くて痛くて脆い』



『そして、バトンは渡された』



映像でイケメンを見るか？  
文字で自分好みに想像するか？

読みだした！ ああとまらない！

## ミステリー小説特集

警察、館、理系、コージー… 最近はイヤミスとかいうのもありまして。鮮やかな謎解き、きっちり伏線回収、ミステリーの醍醐味です。あなたもイッキ読みできますように。

同時開催



カウンター前で  
展示中

Emc  
Navi

今年も皆さんに参加してもらえるクリスマス企画を考えています。詳しくは来月号の告知を見てね。

編集後記

寒くなってくると、あったか〜いお風呂が恋しくなります。近場の温泉旅館に行こうと思ったら…全然予約が取れなかった！（津田）

雪見だいふく  
食べたい。

